

【 第 133 回国内旅行 話題の「新島八重」で人気の会津地方と岳温泉、
山形・あつみ温泉を巡る 3 日間 】

『岳(福島)・あつみ(山形)、 二つの温泉宿でほっこり!』



(鶴ヶ城、会津若松市)

「智恵子抄」に歌われる安達太良山の中腹、岳温泉。坂上田村麻呂の発見。
温海川からの温泉が日本海を暖めると言われたあつみ温泉。発見は弘法大師
とも役小角とも。いずれも古くからの東北の名湯を訪ね、郷土料理を味わい、
ほっこりとあたたまりましょう。

復興支援企画の第 2 弾です！

1日目

【 会津若松へ 】

福島はご存知の通り、東日本大震災の影響が大きく、支援が必要であるにもかかわらず復興が思い通りに進んでいないと言われていています。昨年の国内旅行でも福島にお連れすることが出来ませんでした。今年はこの東北復興企画第2弾として、福島・山形に参ります。

支店により少しずつ違いますが、東京を朝 6:45~7:30 頃に出発します。東北自動車道で会津若松へ。新島八重と白虎隊の城下町です。私も毎週楽しみにテレビを見ていますので、八重が「見に来てくなんしょ！」と言っているような気がします。会津若松の市内に入るともうお昼です。12:00 から 13:00 まで割烹・会津料理田季野で昼食です。



田季野のお店は会津西街道にあった「絲澤旧陣屋」という建物を移設したものです。街道の古い旅館の雰囲気が良く出ていますね。オリジナルの建物は 150 年とも 200 年とも経っていると言われ、この建物の前を吉田松陰や山本覚馬・八重兄弟や土方歳三などが通ったと思うと、感慨しきりです。



(予定の献立ですが、季節柄全く同じではありませんのであらかじめご承知置き下さい。)

お昼の料理「田の膳」です。会津料理、質実剛健ですね。お椀とか、輪っばに郷土料理の特徴が出ています。田季野は輪っば飯で有名なお店です。輪っばは秋田だけではなかったんですね。

【 鶴ヶ城 】

会津と言えば鶴ヶ城、これはもう外せないお約束です。



鶴ヶ城の桜は、例年 4 月末から 5 月上旬の開花です。今年は冬が寒く、春先は暖かかった為に、桜の特性で早めの開花になると言われています。東京も 3 月の下旬で早い開花でしたね。そこから 1 ヶ月後とすれば、4 月の下旬になり、早い班のお客様が見られるチャンスが高いのです。

桜の開花については確かな予想は出来ませんので、ご覧になれたら幸運、ご覧になれない場合は何とぞご容赦をお願いいたします。

鉄砲方、山本家の人々が通ったお城、そして勿論白虎隊の悲劇は日本人の誰もが心打たれる幕末のエピソードです。

鶴ヶ城は、天守閣までご案内できますが、エレベーター等の設備はありません。またお城の構造上、上に行くほど急な階段になります。見学の際はお足元にご注意下さい。また途中で厳しいとお感じになった場合は決して無理をなさらないようお願いいたします。

【 八重と会津博大河ドラマ館 】

鶴ヶ城の隣に「大河ドラマ館」があります。ドラマのセットや衣装・小道具等が見られます。登場人物や時代背景の解説。ミニシアターのドラマメイキングフィルム等、大河ドラマをより楽しく見るには必見です。



【 岳(だけ)温泉 陽日の郷(ゆいのさと) あづま館 】

岳温泉は『智恵子抄』に「あれが安達太良山 あの光るのが阿武隈川」と歌われた安達太良山の広い斜面の中腹、**あだたら高原**にあります。17:00 到着予定です。



(ご希望の方は好きな浴衣をお選びいただくことができます)



(献立の一例ですのであらかじめご承知置き下さい。)

立地条件を生かした減農薬・無添加素材にこだわっています。





普段は緑色がかった透明なお湯ですが、気象条件で湯ノ花の飽和点になると乳白色になります。

胃腸病・神経痛・筋肉痛等に効用があるというお湯はさらさらとさわやか、カルシウムイオンのおかげで入浴後のさらっとした肌触りが特徴です。

2日目

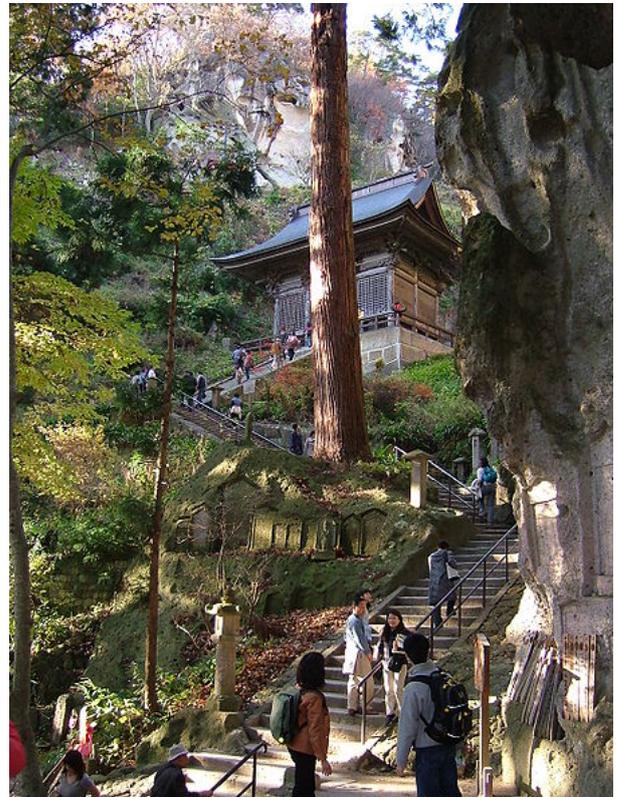
あづま館の和食バイキングを食べて2日目の出発です。8:30の出発予定です。

【 山寺 立石寺 】

10:15 頃に山寺に到着の予定です。

山寺は通称で正しくは宝珠山阿所川院立石寺(ほうじゅさんあそかわいんりっしゃくじ)といいます。天台宗。昨年の中尊寺・毛越寺・松島の瑞巖寺とこの立石寺の四寺で「四寺廻廊」という巡礼コースになるそうです。

大陸の寺院を思わせるほど山に寄り添った伽藍は、正に「山寺」と呼ぶに相応しいお寺です。松尾芭蕉の名句「閑さや 巖にしみ入る 蝉の声」はあまりに有名。元禄2年(1689年)に山寺に達した時のことは「奥の細道」に記載されています。



(立石寺 山王門付近)

* Wiki pedia: Please read under-mentioned permission.

山寺こそ登山と同じですので、今回はバス駐車場から比較的高低差の少ない薬師如来を参拝いたします。高低差が少ないとは言え、50段ほどの階段があります。

薬師如来参拝の後、山寺の対面する斜面にご案内して、山寺の全景をご覧に入れる予定です。



(献立の一例ですのであらかじめご承知置き下さい。)

2日目の昼食ポイント「山寺 風雅の国」和風レストラン「馳走舎」です。高い天井と大きなガラス窓。でもしっかり和のレストランです。土産処「紅花屋(べにや)」、アート作品展示館「古民家ギャラリー」を併設しています。昼食は「芋煮御膳」です。芋煮は山形の代表的郷土料理で芋とは言いながら、主役は牛肉です。冬の農閑期に「芋煮をやりますよ。」と近所に声をかけると、それぞれが材料を持ち寄って、味噌仕立ての芋鍋に持ってきた材料を見せないまま入れておき、出来た鍋をみんなで囲んで食べるという、上杉・直江の山形ならではの暖かい和風びっくりパーティーが始まりと聞いています。現代の「芋煮」は山形を代表するおもてなし料理です。

このあと羽黒山神社に立ち寄り、あつみ温泉に向かいます。

【 あつみ温泉 萬国屋 】

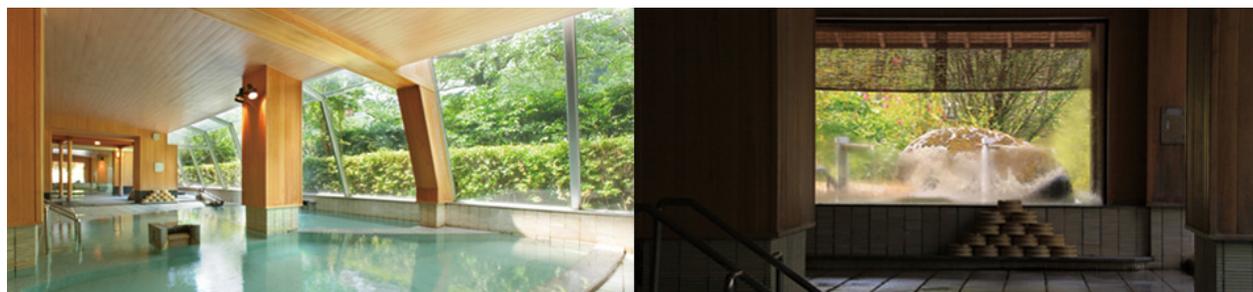
山形の鶴岡市にありますあつみ温泉は、都内から見ると地味で、遠い気もして行きにくいかもしれませんが。ところが毎年行われる『プロが選ぶ旅館・ホテル』というランキングで、今回お泊まりいただく萬国屋は7~8位を維持し続けています。金庫担当者としてもちょっと驚きですが、旅行代理店のプロ達が一様に自信を持って「良い旅館です。」と言うのであれば一度は泊まってみたいと思うのが人情というものです。

温海川をはさんでたくさんの休憩施設が整備されていて、歩行者優先の河畔の散歩は快適とされています。温泉街には足湯も設置されていて、「あんべ湯」(案配がよいの意味)、「もっしえ湯」(おもしろいの意味)、「もっけ湯」(ありがたいの意味)と地元庄内弁の名前がついています。

では、山形のおもてなしの宿に参りましょう。



特に創業300年を超えるこの老舗旅館は、松尾芭蕉や与謝野晶子等の文人墨客に好まれた落ち着いたたたずまいが特徴です。



(大浴場「桃源山水」)



(浴場「楽山」 時間により男性と女性が入替わりますのでご注意ください。)



(浴場「楽水」 時間により男性と女性が入替わりますのでご注意ください。)



(献立の一例ですのであらかじめご承知置き下さい。)

地場の素材で何でもそろっていますね。

3日目

【 酒田市 山居倉庫 】



萬国屋を 8:30 に出発する予定です。酒田市の山居倉庫に向かいます。

山居倉庫は、明治 26 年(1893 年)に酒田米穀取引所の付属倉庫として建築され、120 年を経た今でも現役として使われ、庄内米の中でも特に日本一と謳われる「山居米」を生み出してきました。右写真のケヤキ並木は独特の風情があって、吉永小百合出演のテレビコマーシャルに使われたり、NHK ドラマ「おしん」のロケ地となって観光分野でも有名です。

【 村上市 料亭 能登新 】



(予定の献立ですが、季節柄全く同じではありませんのであらかじめご承知置き下さい。)

3日目の昼食は新潟県村上市の老舗料亭「能登新」にしました。創業270年です。日本海・三面川(みおもてがわ)・朝日連峰の海の幸・山の幸が一つになった会席膳をお楽しみ下さい。村上は特に鮭が本場です。



【 イヨボヤ会館 】



「イヨボヤ」とは村上の人たちが鮭の事をこう呼ぶのだそうです。村上は鮭の孵化事業に世界で初めて成功した地で、カナダに先駆けること140年、何と村上藩の時代です。日本人のわざ本当に凄いと思います。イヨボヤ会館は鮭の博物館です。

この方がその鮭の孵化事業を成功させた人、村上藩士の青砥武平治です。地元では本当に有名人です。彼は鮭が生まれた川に戻ってくる習性を利用して、三面川に鮭の産卵のための人工保護河川「種川」を31年かけて作りました。この「種川」への鮭の回帰は見事に成功し、村上の鮭文化の基礎になると共に、村上藩の財政に大きな力となりました。



毎年4月の中旬には鮭の稚魚が放流されます。

【 帰路は新幹線で 】



* Wiki pedia: Please read under-mentioned permission.

お帰りは新潟駅より上越新幹線「とき」で東京駅に帰って参ります。新潟発が班により 16:00～17:00 頃、東京着が 18:00～19:00 頃です。車両は班により E2 系(左)「とき」、または E4 系(右)「Max とき」です。

平成 25 年度の国内旅行をご紹介して参りました、是非ご参加下さい！

【 募集内容 】

出 発 日	店 舗 名
4 月 25 日 (木)	池袋本町、東王子、志村、小山、亀有、堀切、東四つ木、蔵前、押上支店の お客様
5 月 7 日 (火)	豪徳寺、中野、玉川、野方、高田馬場、赤羽、石神井支店のお客様
5 月 8 日 (水)	本店、秋葉原、砂町、深川、浦安、日本橋、菊川、京橋支店のお客様
5 月 27 日 (月)	京成小岩支店のお客様
6 月 3 日 (月)	神楽坂、江戸川橋、牛込柳町、新小岩支店のお客様

(出発日のご変更希望がある場合は、お申し出下さい。)

【募集人員】 400 名

【旅行代金】 92,800 円 (2～3 名 1 室利用の場合)

* 1 名様で 1 室をご利用の場合は追加料金 20,000 円がかかります。

【募集締切】 各出発日の 2 週間前まで。 * 締め切り前に定員に達する場合がございます。

* お申し込みはお取引の支店にお申し出下さい。

[調査・調整]

東京シティ信用金庫 営業統轄本部 矢野和彦



名鉄観光サービス(株) 東京中央支店 宮崎康宏



<http://www.shinkin.co.jp/to-city/>

* Copyright (c) 2013 Tokyo City Shinkin Bank.

Permission is granted to copy, distribute and/or modify this document under the terms of the GNU Free Documentation License, Version 1.2 or any later version published by the Free Software Foundation; with no Invariant Sections, no Front-Cover Texts, and no Back-Cover Texts. A copy of the license is included in the section entitled "GNU Free Documentation License".